

# 光市醫師會報

平成 13 年 2 月号

No. 340



光市醫師會

## 2月度月例会

## 学術講演会

日時：平成13年2月27日（火）  
午後7時～

「血尿について」

場所：光商工会議所2階大会議室

講師：光市立病院泌尿器科医長  
山本憲男 先生

内容：

- I、学術講演会 午後7時～8時  
「血尿について」  
講師 光市立病院泌尿器科医長  
山本憲男先生



II、月例会 午後8時～

- ①休日診療所開設拡大準備委員会  
・詳細は、次のページ
- ②医療情報ネットワークについて  
・補助金を申請中です
- ③医療廃棄物の処理について  
・感染性のない物まで、医療  
廃棄物になるのか、
- ④医師集団指導について  
・今年は、医療コードの偶数  
番の医師全員の指導予定
- ⑤医師連盟について  
(武見敬三後援会)を設置しました
- ⑥老人保健の一部負担金について  
・全員の会員が定額制を選択
- ⑦明細書の入った領収書を発行して  
欲しいという、依頼に対しては  
可能な医療機関は対応する
- ⑧医療所得の自己申告を、県医師会  
にだすこと

血尿は蛋白尿とならんで、極めて重要な腎症候である。血尿は泌尿器科的、内科的血尿に大別される。糸球体から排泄される赤血球は多彩な変形を呈するので、尿中赤血球の形態異常の観察は泌尿器科的、内科的血尿の鑑別に役立つ。泌尿器科的血尿は画像、内視鏡による検査。内科的血尿は腎生検による組織検査が原因の同定に有用である。

従来、特発性腎出血と診断されていた例の中からnutcracker現象など、原因の明らかになる例も増えてきた。

#### <血尿の名称>

血尿の性状は、下記のように種々の名称で表現される。

- 1、排泄量 肉眼的血尿、顕微鏡的血尿
- 2、排泄の状態 間欠性血尿、持続性血尿
- 3、出血部位 初期血尿、終末期血尿  
(2杯分尿法) 全血尿
- 4、腎・尿路症候 無症候性血尿、症候性血尿
- 5、尿中赤血球 糸球体性血尿、非糸球体性血尿  
形態異常
- 6、その他 チャンス血尿、家族性血尿

<血尿の検出>

尿潜血反応(uristixなど)及び尿沈渣の鏡検によっておこなわれるが、潜血反応はヘモグロビン尿、ミオグロビン尿などにも陽性に反応するので、鑑別が必要である。

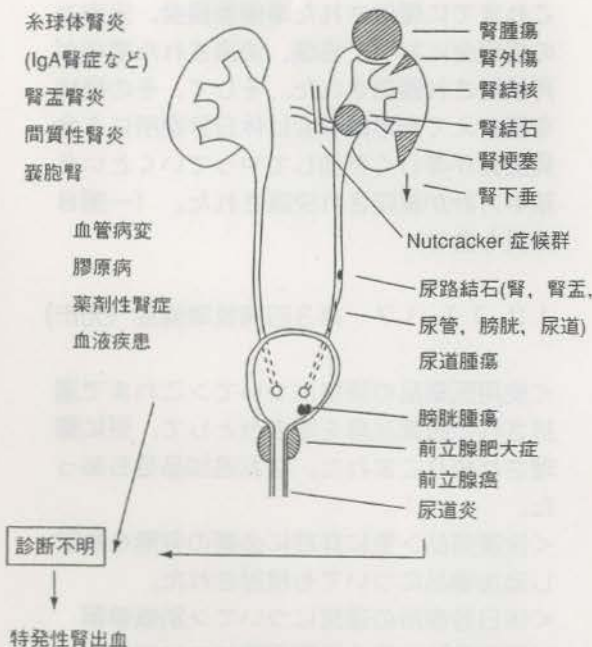
<2杯分尿法 two glass method>

肉眼的血尿の出血部位のスクリーニングに2杯分尿法がある。初期血尿は下部尿路終末期血尿は上部尿路、全血尿は腎実質からの出血を示す。

<糸球体性血尿と非糸球体性血尿>

尿中赤血球排泄の原因が糸球体に由来するとき、糸球体性血尿という。糸球体より下部のネフロン、腎盂以下の尿路から排泄されるとき非糸球体性血尿という。この両者は尿中赤血球の形態を観察することによりスクリーニングすることができる。糸球体性血尿は多彩な変形を示す。(anisocytosis)

<血尿の原因疾患>



<?胞性腎疾患>

年齢とともに増加する。エコー検査にてよく判る。本当に血尿の原因になっているのかよく分からない。

<Nutcracker 現象>

特発性腎出血より分離独立した左側の片側性肉眼的血尿発作をおこす症候群である若年者の肉眼的血尿発作の一つである。下行大動脈と上腸間膜動脈の間に左腎静脈がはさまれて圧迫される現象で、超音波検査でくみ割り器に腎静脈がはさまれているような像を呈するので、Nutcracker (くみ割り器) 現象と命名された。



<内視鏡的診断>

肉眼的血尿例では、血尿を呈している時期に膀胱鏡検査を行う。これにより、下部尿路の出血は確定できるし、片側からの出血ならば、左側なら nutcracker 現象、右側なら腎下垂が疑われる。

<腎生検>

泌尿器科的血尿が否定された糸球体性血尿の症例は、腎生検の対象になる。IgA nephropathy, thin basement membrane disease, などは腎生検が必要で、それにより治療方針の決定や予後の判断に役立つ。

### 光市休日診療所

開設にむけて準備活動の経緯

会長：前田昇一

担当：光武達夫

光市総合福祉センター建設工事も順調に進行しており、光市休日診療所のオープンも予定通り4月1日(日曜)が予定されています。これまでの活動状況を、報告します。

#### 12.7.25 第1回準備委員会(医師会)

前田会長より準備委員会発足の趣旨説明と休日診療所開設の経緯が説明された。あくまで一次救急に徹して行う事が確認された。

＜医師の出務と各医療機関の協力＞特に有床の病医院の先生方への協力が要請された  
＜パラメディカルスタッフについて＞事務職、看護婦、薬剤師、の参加がほうこくされた。

＜設備、器械、備品、医薬品について＞今後、準備委員会で検討し決定するため、各科の協力を要請した。

＜二次病院、近隣病院との連携について＞協議、検討された。

#### 12.8.3 第一回開設準備会(光市)

光市福祉保険部より休日診療所の施設の概要と運営についての説明がなされた。設置備品、器械類および消耗品について検討された。細部は、今後医師会において決定することになった。医薬品についても同様になった。

#### 12.9.5 第2回準備委員会(医師会)

休日診療所で使用する医薬品、医療器械



備品、その他 について検討された。最終決定は準備委員より外科系2名、内科系2名の先生を選任し決めることにした。

＜執務医師の現況について＞この時点にて内科系執務予定者は14名、外科系は13名であった。

＜ナースの確保とパラメディカルの給与について＞上記について報告された。

会員の協力が要請された、そして有床診療所、病院を運営している先生方からも、従来通りの協力を惜しまないという前向きな意見も述べられた。

#### 12.9.13 光市医師会理事会(医師会)

これまでに開催された準備委員会、光市との協議会において協議、決議された事項が再検討され確認された。そして、その経緯を踏まえて光市医師会は休日診療所にA会員全員が等しく参加してやっていくという基本方針が確認され決議された。(一部B会員も含む)

#### 12.11.17 第3回開設準備会(光市)

＜使用医薬品の調整について＞これまで選択された医薬品集を叩き台として、更に整理され絞りこまれた。なお追加品目もあった。

＜設置備品＞更に詳細に必要なの有無を検討し追加備品についても検討された。

＜休日診療所の運営について＞別紙参照  
＜医療事故に伴う損害保険について＞

民間の損保に加入する(下松方式)。これ

は輪番在宅当番医の体制時と同様である。  
 <執務料>市長と光市医師会が契約を結びこれを委託料として支払う。  
 <内科系・外科系の標榜について>  
 外科系の一部の科は広報にその専門の科を公表して掲示することとする。  
 <来院患者の追跡調査>日誌形式で事務が作成する。

### 13.1.18 第4回開設準備会(光市)

市側よりこれまでの準備状況の説明があり名称を「光市休日診療所」として関係書類とともに明日、県庁へ届け出を行う旨の報告があった。

<看板その他>診療所外にはステンレス製の看板を立てる。診療所の中には診察室の入り口に掛ける予定。後日、相談してからとなった。

<看護婦の確保について>現在交渉中で、決まってない。医師会の協力をお願いしたいとのこと。

<工事現場の見学> 実際に工事中の休日診療所内に入り現場を視察、見学した。

### 13.2.1 第5回開設準備会(光市)

<ナースについて>休日診療所に勤務を希望する看護婦に集ってもらい(約10名)休日診療所に関する情報を説明する。質疑応答も行う。役割分担・仕事の分担についても説明する。看護職員は現時点では確保されたものと考えられた。

[休日診療所のこれからの予定]

平成13年2月27日第3回拡大準備委員会  
 (光市医師会)

- ①平成13年3月22日 3時～5時
  - ②平成13年3月29日 3時～5時
- 現地にて機器の説明会

平成13年4月1日光市休日診療所オープン  
 平成13年4月8日  
 総合福祉センター、オープニングセレモニー  
 「医師会コーナーあり」

## 理事報告

郡市医師会広報担当理事協議会

日時：平成13年1月18日(木)午後3時～

場所：山口県医師会館 会議室

出席：兼清理事

協議事項

- 1、平成12年度都道府県医師会広報担当理事連絡協議会報告
  - ・H12. 11. 16 日本医師会館にて広報活動とリスクマネジメントについて講演会があった
  - ・「広報110番」の本を読んで下さい
- 2、郡市医師会との連携における会報の役割
- 3、県医師会報と医政問題について
  - ・武見敬三後援会の設立について
- 4、情報交換・意見・要望
  - ・3月よりインターネットを通じ文章を各都市に配信する、広報もホームページ等を通じて行うようになるだろう



2月度定例理事会

日時：平成13年2月14日（水）  
午後7時30分～

場所：医師会事務局

議題：

I、報告事項

(1) 第5回光市休日診療所開設準備委員会の報告（光武理事）

- ・パート看護婦さんは、確保された
- ・3/22と3/29にレントゲンの装置の説明会ある
- ・4/8 にオープンセレモニーある

(2) 郡市医広報担当理事協議会の報告（兼清理事）

- ・詳細の報告書ある

(3) その他

II、承認事項

(1) 2月度光市医師会月例会と講演について（山本理事）

(2) その他

- ・3月は「喘息」の講演会
- ・医師会用の倉庫を造る
- ・インド西部地震被災者救援義援金（光市医師会より2万円）



（総合福祉センター）



（休日診療所）

――あしがき――

世の中すべてが、インターネットのバブルに侵されてきた。トラは死して皮を残し、森総理やめてIT革命を残す。大したもんだ、・・・  
（文責 兼清）

|     |                           |
|-----|---------------------------|
| 発行所 | 光市医師会                     |
|     | TEL (0833) 72-2234        |
| 発行者 | 前田昇一                      |
| 編集者 | 広報担当                      |
| 印刷所 | 光市光井一丁目15番20号<br>中村印刷株式会社 |